

2000年代レトロスペクティブ (回顧) (2)

土屋 正人

Masato Tsuchiya

Vol.106で「2000年代レトロスペクティブ(回顧)」と題して、2000年代最初の10年の間に熟読した本を紹介しましたが、アジャイルに関連したものだけになってしまいました。

今回は、アジャイル以外の本を紹介します。

◆モデリングの深耕

2000年代のモデリング言語は、UMLが中心でした。UMLと最も相性のよい開発プロセスはUP(統一プロセス)。必然的にUPの拡張版であるRUPを使うことが増えました。

- ラショナル統一プロセス入門 第3版 フィリップ・クルーシュテン 著 アスキー

RUPの概説書。反復開発の管理面と開発面双方を包含するRUPは、現在でも大きな影響力のある開発プロセスだと思います。アジャイル時代になっても、その思想はDAD(ディシプリンド・アジャイル・デリバリー)に引き継がれていきます。

- UMLモデリングのエッセンス 第3版 マーチン・ファウラー 著 翔泳社

肥大化したUMLに惑わされることなく、モデリングのエッセンスを習得できました。

- オントロジー構築入門 古崎 晃司、來村 徳信、笹島 宗彦 著、溝口 理一郎 編集 オーム社
- オントロジー工学 溝口 理一郎 著 オーム社

ドメインモデルを構築する際、オントロジーの考え方が参考になります。前者では、簡潔な理論解説

とサッカーという身近な題材のオントロジーを構築していく過程を通して興味深く学習でき、後者では、より深い理論と哲学を習得できました。

- ドメイン駆動設計 エリック・エヴァンス 著

翻訳は2011年なので、今回の範囲外ですが、原書の出版は2003年。オントロジー同様、今でも古びることはありません。アジャイルが普及してきた今こそ、読むべき本かもしれません。

◆パターンの利用

1990年代のGoFの「デザインパターン」で支持を得たパターンは、2000年代に入ってビジネスモデリングやアーキテクチャにも広がりました。

- ストリームラインオブジェクトモデリング ジル・ニコラ、マイク・アベニー、マーク・メイフィールド 著 ピアソンエデュケーション

12のコアパターンと、それらの組み合わせでビジネスルールなどをモデリングするための98の原則は、ドメインモデル構築に役立ちました。

- UMLによるビジネスモデリング ハンス=エリック・エリクソン、マグヌス・ペンカー 著 ソフトバンククリエイティブ

- ビジネスパターンによるモデル駆動設計 Pavel Hruby 著 日経BP社

前者は、ビジネスモデリングのためのUML拡張として知られるエリクソン・ペンカー法の教科書。

後者は、REA(リソース・イベント・エージェント)による25のパターンによるビジネスモデリングの教科書。どちらもドメインモデル構築の参考に。

- エンタプライズアプリケーションアーキテクチャパターン マーチン・ファウラー 著 翔泳社
- オブジェクトデザイン レベッカ・ワーフスブラック、アラン・マクキーン 著 翔泳社

前者では、中核となる数多くの OR マッピングパターンが、後者では、6 つの役割のオブジェクトのコラボレーションによる責務駆動 (RDD) のパターンが、それぞれ大変有益でした。

◆アーキテクチャの理解

ソフトウェアアーキテクチャとソフトウェアアーキテクト。よく使う言葉ですが、意味と役割を簡潔明瞭に伝えるのは難しいものです。

- 職業としてのソフトウェアアーキテクト マーク・スウェル、ローラ・スウェル 著 ピアソンエデュケーション

ソフトウェアアーキテクトの本質は、プランナでありファシリテータであると理解しました。

- ソフトウェアアーキテクチャドキュメント Paul Clements, Len Bass, David Garlan, James Ivers, Felix Bachmann 著 日刊工業新聞社
- 実践ソフトウェアアーキテクチャ Len Bass, Rick Kazman, Paul Clements 著 日刊工業新聞社

どちらも大部で読み通すだけでも大変でしたが、アーキテクチャを複数の視点で捉えて評価する方法や考え方について、得るところが大きかったです。

◆ファシリテーションの実践

アジャイルプラクティスのひとつ「レトロスペクティブ (ふりかえり)」を行うようになって実感したのは、ファシリテーションの重要性でした。

- ファシリテーション・グラフィックス
- チーム・ビルディング
- ワークショップデザイン
- ロジカル・ディスカッション

堀 公俊、加藤 彰 著 日本経済新聞出版社

いずれも実例によってファシリテーションの奥義を理解することができ、楽しく実践しました。

- ファシリテータの工具箱 森 時彦 著 ダイヤモンド社

ファシリテーションを行う際のフレームワーク集。類書は多数ありますが、これはコンパクトで充実。

◆その他思考法など

一見ソフトウェアから遠く思えるビジネス本にも、物事を考える上で有益な本が沢山ありました。

- 問題解決の全体観(上巻 ハード思考編)
 - 問題解決の全体観(下巻 ソフト思考編)
- 中川 邦夫 著 コンテンツ・ファクトリー

状況把握→状況の解釈→解釈に基づく行動、などの思考・行動パターンが、分かりやすい説明とビジュアルで伝授されます。思考法本の白眉。

- 超ビジュアルシンキング ダン・ローム 講談社
- 文字通りビジュアル (絵) を使って考える本。SQUID というフレームワークや、見る→視る→想像する→見せる、というプロセスを学習。

- 仮説思考 内田 和成 著 東洋経済新報社
 - 論点思考 内田 和成 著 東洋経済新報社
- 問題発見 (仮説)、問題設定 (論点) の BCG 流テクニック概説書。リーンに繋がるものを感じました。

- ハッカーと画家 Paul Graham 著 オーム社
- イノベーションの神話 Scott Berkun 著 オライリー・ジャパン
- パタン、Wiki、XP 江渡 浩一郎 著 技術評論社

これらはソフトウェア中心の読み物ですが、いずれも新たな気付きを得ることができました。

学ぶことは尽きません。

夢を。

GSLetterNeo Vol. 108

2017年7月20日発行

発行者●株式会社 SRA 先端技術研究所

編集者●土屋正人

バックナンバーを公開しています●<http://www.sra.co.jp/gsletter>

ご感想・お問い合わせはこちらへお願いします●gsneo@sra.co.jp



株式会社SRA

〒171-8513 東京都豊島区南池袋2-32-8

夢を。Yawaraka Innovation
やわらかいのべしょん